

## 第5学年国語科学習指導案

児童 5年2組 男13名 女13名 計26名  
指導者 阿部 敏

立場や根拠を明らかにしながら、3人で聞き合う活動を通して考えを深める学習活動の工夫

## 1 単元名 聞き合って考えを深めよう

(学習材名『おおきな木』 シェル・シルヴァスタイン 作)

## 2 単元について

## (1) 児童の実態

児童はこれまでに、「インタビュー名人になろう」(光村図書)や、「どうして勉強しなくちゃいけないの」(開発教材)の学習で、相手の言いたいことをつかみながら聞くこと、相手の話したことに応じて聞き返すことを意識して学習してきた。また、国語以外の教科や学校生活の様々な場面でも、対話を用いて自分の考えを友達に伝える活動を積み重ねてきた。その結果、相手に聞き返したり感想を話したりして相手の意図を考えながら聞く力や、話題に沿って聞き合う力が付いてきている。しかし、考えの根拠を自分が納得するまで繰り返して聞いたり、話された考えに応じて自分の考えを深めたりすることについては、まだ十分とはいえない。

このことから、互いの立場や根拠を明らかにして聞き合いながら、相手の考えを聞き返したり感想を話したりして対話をはこび、自分の考えを深める力を身に付けさせたい。

## (2) 主たる指導事項と学習材

本単元の主たる指導事項は、「自分の立場や意図をはっきりさせながら計画的に話し合うこと」である。この力を育てるためには「立場や根拠を明らかにして話すこと」、「立場や根拠を聞き返すこと」などの力を育てていく必要がある。本単元では、「立場や根拠を明らかにし、3人で聞き合う活動を通して、考えを深めること」が指導の中心である。

このような力を育てるために、学習材として『おおきな木』を用いる。『おおきな木』は、仲良しの男の子の願いを、大きな木が自分の身を削ってかなえてあげる話である。最後には、木が切り株になってしまうが、木は「うれしかった」という。この木の行為が、与え続ける無償の愛の尊さを象徴している。文中では、木の嬉しさが本当なのかどうかを問いかけており、児童の心を揺さぶる学習材である。

この学習を通して、いろいろな感じ方や考え方に触れ、自分の考えを深めさせたい。そのために、「木」の言動や気持ちについて3人で聞き合う活動を行う。そこで、相手の考えに応じて聞き返したり、自分の感想を話したりして聞き合い、対話をはこぶ力を身に付けさせるとともに、自分の考えを深める力をより伸ばしていきたい。たくさんの違う感じ方にふれることにより、友達を理解し受け入れていくことで心の交流も図っていきたいと考える。

## (3) 指導に当たって

みとおす段階では、児童が話の筋をしっかりとつかみ、本に対する興味・関心が高まるようにしたい。そのために、教師の範読と共に挿絵を提示し、木や男に対するイメージを膨らませる。そして、児童の感想をもとに、対話で考えたいことについて話し合わせたい。

ふかめる段階では、まず『おおきな木』の話題について、児童一人一人に自分の考えをもたせる。次に、「木」の本意にせまるために、木が心を許している「ぼうや」の気持ちを考えさせる。特に、「ぼうや」が木に腰掛ける最後の場面では、ぼうやにとって、木が心休まる存在であり、二人の間には深い信頼関係があることにまで気付かせたい。最後に、木の気持ちに対する自分の考えを深めるために、3人で聞き合う活動を行う。

まとめる段階では、聞き合う学習をふり返り、学んだことを聞き合う。その中で、全ての活動を含めた『おおきな木』の感想を書かせる。そして、単元初めの木に対する自分の考えと比較し、より考えが深まったことを実感させていきたい。

### 3 単元の目標

#### (1) 国語への関心・意欲・態度

- ・『おおきな木』に関心をもち、自分の考えと比べながら友達の考えを聞こうとする。

#### (2) 話すこと・聞くこと

- ・話題について、立場と根拠の相違点や共通点を明らかにしながら聞き合い、自分の考えを深めることができる。

#### (3) 言語についての知識・理解・技能

- ・自分の考えを明確に表現するための話し方や書き方を理解することができる。

### 4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
①話し手の考えを聞き、相手の意図をつかもうとしている。	①自分の立場や根拠との相違点や共通点を聞き分けている。 ②相手の考えを共感的に受け止め、聞き返したり感想を話したりしている。	①考えと理由の書き分け方を理解している。

### 5 学習指導計画（5時間扱い）

〔関連する前単元〕「インタビューをしよう」

- 話の組立てを考え、相手の話の内容を受けて返しながら、インタビューを行う。

〔スピーチ〕「私の気になるニュース」

- 始め・中・終わりの簡単な組立てで話す。内容を正確に聞き取り、詳しく知りたいことについて聞き返す。



段階	学習課題	学習活動と時間	評価規準（方法）
みとおす	○『おおきな木』を読み、感想を書こう。	・『おおきな木』を読み、心に残ったことについて感想を書く。 ・学習の見直しをもつ。 (1)	アー① 話に興味をもって感想を書き、学習への意欲を示している。 (観察・発言・学習シート)
ふかめる	○感想をもとに聞き合う話題を決めよう。	・聞き合いで考えたいことを話し合う。 ・決まった話題について自分の考えをもつ。 (1)	イー① 自分の立場や根拠との相違点や共通点を聞き分けて考えている。 ウー① 立場と根拠の書き分け方を理解している。(発言・学習シート)
	○『おおきな木』の坊やについて対話をし、自分の考えを深めよう。	・坊やの気持ちについて対話する。 ・対話を通して自分の考えを発表する。 (1)	イー② 相手の立場や根拠を共感的に受け止め、詳しく知りたいことを聞き返したり感想を話したりしている。(観察・発言・学習シート)
	○『おおきな木』の木について聞き合い、自分の考えを深めよう。	・話題について聞き合う活動をする。 ・対話を通して自分の考えを発表する。 本時 (1)	イー② 相手の立場や根拠を共感的に受け止め、詳しく知りたいことを聞き返したり感想を話したりしている。(観察・発言・学習シート) ウー① 立場と根拠の書き分け方を理解している。(発言・学習シート)
まとめる	○『おおきな木』を通して、自分が考えたことを交流しよう。	・『おおきな木』を用いた対話の学習全体を通しての自分の考えを書きまとめ、友達と聞き合う。 (1)	イー① 自分の書いた考えと友達の考えとの相違点や共通点を聞き比べている。(発言・学習シート)



〔生かす単元〕「大造じいさんとガン」

- 登場人物の生き方について、自分の考えをまとめる。

## 6 本時の指導

- (1) ねらい 3人の立場や根拠を明らかにして聞き合いながら、自分の考えを深めることができる。  
 (2) 展開

段階	学習活動 ○主発問	時間	学習内容	教師の関わり ☆評価(方法)
みとおす	1 本時の話題と柱を確認する。  (話題) 木は、本当にうれしかったのだろうか。 (柱) 3つの場面の「うれしかった」は、同じなのだろうか。	3	◇3人で聞き合う話題と柱を把握すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3人での聞き合いの後で、話題について自分の考えをまとめることを確認する。</li> <li>本時は、お互いの考えを聞き合い、自分の考えを広げたり深めたりするために対話をするということを確認する。</li> </ul>
ふかめる	2 聞き合いの手順とめあてを確認する。  (1) 聞き合いの手順を確認する。  (2) 聞き合いのめあてを確認する。	5	◇聞き合いの手順とめあてを把握すること。  ・3人での聞き合い方 ①Aが話す。 BとCは、Aに聞き返す。 ②Bが話す。 CとAは、Bに聞き返す。 ③Cが話す。 AとBは、Cに聞き返す。 ④A、B、Cそれぞれが感想を話す。  ・聞き合いのめあて ・相違点や共通点に気をつけながら相手の考えを聞くこと。 ・相手の考えや理由を確かめるために聞き返すこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「友達の対話を聞き、より多くの感じ方・考え方にふれられること」②「自己内対話の時間を取りやすいこと」によって、自分の考えをより広げたり深めたりできること」の2点から、3人での聞き合いを行う。</li> <li>同じ考えであっても、違う考えであっても、自分が納得するまで聞き返すことを意識させる。</li> </ul>
	3 3人で聞き合う。 ○3つの場面の「うれしかった」は、同じ気持ちなのではないでしょうか。	14	◇考えや理由を明らかにして聞き合うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆相手の考えや理由を共感的に受け止め、詳しく知りたいことを聞き返したり感想を話したりしているか。 (観察・発言・学習シート) [努力を要する児童への手立て] ・自分との考えや理由の違いを指摘し、詳しく知りたいことについて聞き返すように促す。</li> </ul>
	4 全体で聞き合う。 ○どんな聞き合いがなされましたか。	12	◇全体で考えを聞き合い、自分の考えを深めること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表された考えを、まとまりを作りながら板書し、児童が黒板で確認できるようにする。</li> </ul>
	5 話題について考えをまとめる。 ○「木は、本当にうれしかったのだろうか」に対する自分の考えを書きまとめましょう。	8	◇話題について自分の考えをまとめること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3人での聞き合いと、全体での聞き合いをもとにして、話題に対する自分の考えを学習シートにまとめるようにさせる。</li> </ul>
まとめる	6 学習のまとめをする。	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>違う理由が加わったり、別の考えに変わったりして考えが深まった例を取り上げ、聞き合いのよさを児童に実感させる。</li> </ul>